



報 告 書

「世界津波の日」2017 高校生島サミット *in* 沖縄

High School Students Islands Summit
on World Tsunami Awareness Day 2017 in Okinawa

2017年 11月7日[火] ▶ 8日[水]



2. 開催要項

名 称	High School Students Islands Summit on World Tsunami Awareness Day 2017 in Okinawa 和名：「世界津波の日」2017高校生島サミット in 沖縄
全体テーマ	“みんなを守りたい”津波の脅威を知り、備え、いま自分ができること。 ～万国津梁の島から発信する“ゆいまーる”の心～ 英 語 We want to protect people’s lives – Let’s do what we can now upon learning and preparing for the threat of tsunami. ～Send the message of “Yui Maaru” spirit from the island of Bankoku Shinryo～
開催趣旨	11月5日の「世界津波の日」は、津波の脅威と対策への国際的な意識向上を目的に2015年12月の国連総会において日本が提唱して日本を含む142カ国が共同で提案し、全会一致で採択された共通国際デーです。 日本では、2011年3月の東日本大震災を教訓として、同年6月に11月5日を「津波防災の日」と決めました。 これは、1854年旧暦11月5日に起きた安政南海地震の際、和歌山県広川町の庄屋だった濱口 梧陵（はまぐち ごりょう）が、稲むらに火をつけ、村人を高台に導いて大津波から命を救った逸話「稲むらの火」に由来しています。 「世界津波の日」元年の2016年11月、次世代を担う世界中の子供たちに津波の脅威と対策について学んでもらうため、高知県黒潮町で11月25日から26日まで、「世界津波の日」高校生サミットin黒潮が開催されました。 日本を含む30カ国の高校生（国内参加高校生115名、海外参加高校生246名）が参加し、津波防災についてのフィールドワークや議論を通して、日本の津波の歴史や防災・減災の取組を学び、サミットの成果文書として「黒潮宣言」が採択されました。 昨年に引き続き、今年は「世界津波の日」2017高校生島サミットin沖縄として沖縄県で開催します。 沖縄県は、1771年に八重山地震による「明和の大津波」で多くの犠牲者をだしました。この大津波は、世界でも最大級といわれ、今でも各地に津波石と呼ばれる歴史的遺産があります。 また沖縄県は、多くの有人離島をもつ我が国唯一の島しょ県です。 今回の高校生サミットでは、沖縄県と同じような自然環境を有する島しょ国の若者がそれぞれの地域での防災の知見と地震津波の脅威を後世へ語り継ぎ、必要な防災、減災、迅速な復旧復興、国際連携に資する施策を総合的かつ計画的に実行することで、地震津波から国民の生命、身体、財産の保護、国民生活及び国民経済に及ぼす影響を最小化できる国土強靱化を担う将来のリーダーを育成することを目的に開催します。
使用言語	英語
主 催	沖縄県・沖縄県教育委員会
共 催	国連国際防災戦略事務局(UNISDR)駐日事務所
後 援	国土強靱化推進本部・内閣府・外務省・文部科学省・気象庁・経済協力開発機構(OECD)

2. 開催要項

- 参加者数** 参加者合計 323名（高校生：255名、引率：68名）
（内訳）
海外参加高校生149名、海外高校引率 25名（25ヶ国）
国内参加高校生106名、国内高校引率 43名（42校）
- 高校生議長** 青木孝之介（沖縄県立那覇国際高等学校）
メキュー・ジャスミン・リン（沖縄県立那覇国際高等学校）
- 分科会分野**
1. 知る：過去の事例と得られた教訓を学ぶ
例：地域の災害の事例、教訓を後世に伝える...
 2. 備える：災害に備える
例：災害リスク軽減のための教育、災害に強い地域づくり...
 3. 行動する：発災直後の対応
例：安否確認、避難所運営、外国人対応...

3. サミット日程

当日スケジュール

○ 11月7日 (火)	
【開会式】 (沖縄コンベンションセンター展示棟)	
14:00 ~ 14:30	UNISDR動画、前回大会動画 放映
14:30 ~ 14:35	オープニング映像、開会宣言
14:35 ~ 14:40	参加国紹介
14:40 ~ 15:20	開催地歓迎挨拶 (宜野湾市長) 主催者挨拶(県知事) 来賓挨拶 (二階幹事長、江崎大臣、小此木大臣)
15:20 ~ 15:50	スタディツアー報告会 (宮古島、石垣島) 世界津波博物館会議報告
15:50 ~ 17:20	閉会 分科会のためのブリーフィング (①自己紹介 ②進行方法の確認)
17:20 ~ 18:00	記念撮影 (①全体撮影会 ②分科会毎)

○ 11月8日 (水)	
【分科会】 (沖縄コンベンションセンター展示棟)	
10:00 ~ 12:00	分科会
12:00 ~ 13:15	ランチミーティング(大使ノート発表検討会)
【記念植樹】 (宜野湾海浜公園)	
13:15 ~ 15:00	記念植樹・全体記念撮影(移動・休憩を含む)
【総会】 (沖縄コンベンションセンター展示棟)	
15:00 ~ 15:15	オープニングアトラクション
15:15 ~ 15:20	総会開会宣言 (高校生議長)
15:20 ~ 15:35	主催者挨拶(県教育長) 来賓等挨拶(内閣総理大臣/ビデオ、 UNISDRディレクター/代読：松岡UNISDR駐日事務所代表)
15:35 ~ 16:50	分科会報告
16:50 ~ 16:55	大使ノート発表宣言
16:55 ~ 17:00	閉会宣言

宣言文

国連総会において「世界津波の日」が制定されたことに伴い、昨年、「世界津波の日」高校生サミットが高知県黒潮町で開催され「黒潮宣言」が発表されました。そして本年、私たちは、“万国津梁の島” 沖縄に集い、「世界津波の日」2017高校生島サミットin沖縄が開催されました。

年々、地球規模の自然災害の脅威が高まる中、大地震を含む津波被害に遭遇した多くの人々が悲しい体験をし、苦しみながらも復興に立ち向かっています。

私たちは昨年の「黒潮宣言」を受け、この宣言をベースに自国地域で実践するための行動計画を本日策定しました。それが「若き津波防災大使ノート」です。これは、私たちの大切な人、そして地域の人々の命を守りたい、その一心から生まれました。津波の脅威を知り、備え、いま自分たちが出来ることを実践していきます。

災害リスクに備えるため、私たちは何をすべきか、このサミットを通じて学び合い、共有することができました。この共有物である「若き津波防災大使ノート」を自国に持ち帰り、自分事として捉え、地域の人々と共に行動計画を実践していくことをここに宣言します。

知る

グループ A : 過去からの学びが私たちの未来を守る

グループ B : まずは、自分の命から

備える

グループ C : 一に知識、二に行動！

グループ D : 防災の意識は若い世代の手の中に

グループ E : 意識と備えが私たちの成功と幸せの鍵を握る

グループ F : 鍛えた健康な体があれば、いつでも準備万端

行動する

グループ G : 自然を守ることは、自分たちを守ること

グループ H : 行動するなら、今！後悔先に立たず

2017年11月8日

「世界津波の日」2017高校生島サミットin沖縄

1. 記録写真

■ 開会式（11月7日）



1. 記録写真

分科会ブリーフィング（11月7日）



1. 記録写真

■ 分科会 (11月8日)



1. 記録写真

総会（11月8日）

